
齋藤 真知亜 Machia Saito, Violin

1962年東京生まれ。

1985年東京芸術大学を首席で卒業。同年芸大オーケストラ定期演奏会のソリストに選ばれる。NHK 新人洋楽オーディション合格。

1986年 NHK 交響楽団に入団。

1999年からはリサイタルを毎年開催し、様々な楽器との共演を主とした「Viologue」、協奏曲を中心とした「Biologue」、現在はアルファベットを辿る「Dialogue」その独特なプログラミングや演奏スタイルは、回を追う毎にファンを増やしている。

2006年より東京音楽大学の教授陣と共に弦楽四重奏団「Quattro Piaceri」に参加。ショスタコーヴィチ全曲演奏を中心とした活動は、各方面より注目を集め、2010年に「第65回文化庁芸術祭音楽部門大賞」を受賞した。

2007年より NHK 交響楽団のメンバーによる「ヴィルトゥオーゾカルテット」を結成し、バルトークの弦楽四重奏全曲演奏を完遂。

西崎信二、奥田富士子、兎束龍夫、海野義雄、二村英之、山口裕之の各氏に師事。

現在 NHK 交響楽団第一ヴァイオリン・フォアシュペーラー、東京音楽大学兼任准教授。

また、ジュニア・フィルでは指揮者として若者の育成に力を注いでいる。

TARUGA レーベルより「シェーンベルク/月に憑かれたピエロ」、SUGI レーベルより「ザ・ビートルズ・オン・ストリング・カルテット」、「弦楽四重奏による<ドラゴン・クエスト>」、キングレコードより「クワトロ・ピアチェーリ」、マイスターミュージックより「ベートーヴェン弦楽四重奏曲 15&大フーガ」「ゴールドベルク変奏曲」を、又「モーツァルト：レクイエム弦楽四重奏版」では、その編曲も手掛け、各方面より好評を博す。「ゴールドベルク」と「レクイエム」はオーディオファイルのサイトにて優秀録音に評されている。2017年にはモーツァルトのクラリネット五重奏と協奏曲がリリースされたが、この協奏曲でも「五重奏版」への編曲を手掛け、注目されている。

(平成30年8月現在・転載禁止)